

イタリアに単身渡りトリノを拠点に生活を始め、奇妙に感じた事は、ヨーロッパの人々がイメージする日本、そして自分の生まれた町、広島に対する認識のズレだった。それは、今まで日本で生活していた時には、意識した事が全く無く内から見る目と外から見た目では、これ程ズレがあるのかと強く感じた。

そのズレを表現の対象にする事が私の作品制作の大きな核となり、そこから、愛や平和といった世界共通の記号のハートを絵画作品の中に多用する事となった。それは、世界中の人々にそれぞれのヒロシマがあり、そのイメージをもう一度考え直す契機の商品を制作したいとの思いからだった。

こうした思いは、長らく私が、生活するイタリアに対する日本を含め外から見たイメージのギャップにも繋がって行った。そのギャップを問い直す為、イタリアの日常的な記号であるカトリックのクロスやマドンナのメダル、イタリアンモードの象徴であるボタンを絵画の中に刻みつける事でそれを見た人々にそれぞれが思うカトリックやイタリアンモードのイメージが立ち現れるのである。

長年異国の地で暮らし作品を制作する事は、自分の出自をもう一度、反芻する契機となった。そうした中で制作された作品は、まるで自分の体の一部と錯覚する程、自分自身を現しているのかもしれない。

2013年2月 櫻井伸也

BASE GALLERY / MATRIX JAPAN S.A.
103-0025
東京都中央区日本橋茅場町1-1-6
小浦第一ビル1F
tel : 03 5623 6655
fax : 03 5623 6656
info@basegallery.com
www.basegallery.com